

# European Vascular Course 2023

参加者：3名

敬称略・50音順

No	お名前	ご所属	報告書 番号
1	浦本 孝幸	名寄市立総合病院	1
2	中西 敬太郎	札幌医科大学附属病院	2
3	水島 大地	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	3

## 1. 中西 敬太郎（札幌医科大学附属病院）

この度は、3月5日から7日にかけてオランダのマーストリヒトにて行われた 26th European Vascular Course に参加させていただいたのでご報告させていただきます。

今まで海外学会など参加の経験は全くなく、自分にはややハードルが高いようにも思いましたが、新しいデバイスや日本ではまだ一般的でない治療について勉強できる貴重な機会であり非常に興味が湧きましたので参加させていただきました。

私は EVC 介在前日にアムステルダムスキポール空港へ降り立ち、そこから電車に乗り 2 時間 50 分ほどでマーストリヒトへ到着しました。マーストリヒト駅付近のホテルで宿泊し、翌日 MECC で開催される EVC へ参加しました。

本学会は Arterial Course, Venous Course, Vascular Access Course, Cardiovascular Course それぞれで講演、トレーニングコースが設けられている形でした。会場内での各発表は並列で行われており、私は Arterial Course と Venous Course の講演聴講をメインに勉強させて頂きました。講演内容は治療方法・成績など教育的な内容が多く、血管内治療についての講演が多い印象でした。

日本の学会ではランチタイムはランチョンセミナーといった形式が多いですが、EVC ではサンドイッチや果物が用意され、立食形式で参加者が自由に学会会場内において交流できるような形式となっており新鮮でした。

ケースディスカッションにも参加してみましたが、悔しいことに英語力不足のため積極的にディスカッションに参加できませんでした。

トレーニングコースに参加するには事前にアプリでの予約が必要であり、workshop は同じ内容で学会期間中に繰り返し開催されておりましたが、人気の workshop は学会開催前に予約でいっぱいになっていたので少し早めに予約することをお勧めします。

最後になりますが、このような貴重な経験をする機会を与えてくださった日本血管外科学会、European Vascular Course 関係者の方々に感謝申し上げます。



## 2. 水島 大地（社会医療法人 製鉄記念室蘭病院）

今回、日本血管外科学会のご高配により 2023 年 3 月 5 日～7 日にオランダ、マーストリヒトで開催された、第 26 回 European Vascular Course (EVC) に参加させていただきました。

まずは移動についてです。3 月 3 日に羽田空港からイギリス、ロンドンヒースロー空港 (LHR) 経由でドイツ、デュッセルドルフ空港 (DUS) まで移動し、翌日 4 日に高速バスで 1 時間半ほどかけてオランダ、マーストリヒトまで移動しました。オランダ国内のスキポール空港よりもデュッセルドルフやブリュッセルなどの周辺都市の空港からの方が距離が近く、そこからの高速バスでのアクセスがストレスなくおすすめです。

EVC 自体は Arterial course、Venous course、Vascular Access course、Cardiovascular course のそれぞれで午前中の Lecture、午後の Case discussion などが開催されており、それと並行してハンズオン形式の training のセッションがありました。

私は主に Arterial course の聴講をメインに勉強させていただきました。特に Case discussion では自分自身の英語力のなさを痛感し、今後の研鑽の必要性を感じるとても良い機会になりました。各セッションの予約も含めて専用アプリでのスケジュール管理ができますが、参加申し込みが直前だったため、training についてはほとんど予約が埋まってしまっている状況でした。ただ当日、飛び入りでも参加できるブースもいくつかあったようです。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった日本血管外科学会、ならびに EVC 事務局の皆様にご場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。来年度は 2024 年 3 月 4 日～6 日に開催が予定されております。もし機会がありましたら、皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか。



## 3. 浦本 孝幸（名寄市立総合病院）

この度は日本血管外科事務局様からの御紹介のおかげで、本学会の存在を知り、病院の計らいもあり 26th EVC に参加させていただきました。この場を借りてご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。今学会を通じて私が感じたことを綴るにあたり、学会の内容が素晴らしいのは間違いのないためそれは他の方にまかせ、私が犯したたくさんのミス伝えていこうかと思えます。（皆様には当たり前レベルのことも多々あると思えます。）

1. 日程は余裕を持って組むべきであった。

少なくともヨーロッパには前日の昼までにはいた方が良かったです。私は北海道からなので一度東京に行き、一泊してからフランクフルト、アムステルダムへと向かいました。余裕を持ったつもりでしたが思いの外、到着時間が遅くアムステルダムには前日夜の 23 時に到着でした。日中に着くようにしていれば無料のシャトルバスを出してくれています。夜中の海外はとても不安でした。もし移動す

るなら電車が良いです。NS というアプリで券を事前に買えます。でも QR コードがあって安心したらミスです。空港に QR コードをかざす機械はありません。調べたらそんな駅もあるようなのでその時は気にせず電車に乗れとのことでした。車内で車掌に QR 見せれば良いです。事前に調べていてもホームに来る電車が違うことがあります。ちゃんと確認しましょう。私はマーストリヒトに行くための最終便に飛行機から降りて走っても間に合わず、近くまで行こうと調べて乗ったら来た電車が違い、めっちゃ迷子になりました。とりあえず大きそうな駅を目指して駅を出たり入ったりうろうろしてました(券があればとりあえず出入り自由です。よく分かりませんが何回でも入れます。)。意外に夜遅くまでやっており人もたくさんいます。私は駅前にいるタクシーを使いました。260€くらいでした。高いです。タクシーアプリは UVAR ! それでみた方が安かったですが不具合があり私は使用することはありませんでした。

2. ホテルに一度は連絡を入れておけばよかった。

ホテルに着いたのが4時ごろ、予約サイトでお願いしてたのですが、予約されておらず。。。フロントマンも私も困りましたがたまたまチェックインの5時に1人来ず、キャンセルとなったためそこに通してくれました。ホテルは基本高いです。私は駅の西側、川を超えたあたりのイージーホテルというところに泊まっておりました。ホテルは人含めてとても良かったです。駅から遠かったので駅近の方が良いです。会場近いと便利ですが、バスで行けるし(タダで使える!)、街を歩くだけでも楽しかったのでそこは個人の好みになるかと思います。

3. 英語にはなれておくべきであった。

これをいうとハードルが上がってしまいそうですが、会場では教える側の言語が英語です。多分2割もわかってませんでした。そうなる教える側も困ってました。参加者とのコミュニケーションも取れず、せっかくの機会を十分に生かし切れてないように感じました。高いお金と時間をかけていくことを考えれば申し込みしてから少なくとも2週間くらいは英語に慣れる時間をかけてても良いかもしれません。

今回の参加でお金は参加費 275€、飛行機 50 万以上、迷子で何度か買った電車代 50€、タクシー(長距離なのにいい人だったのでチップ含めて)300€、食事 100€くらい、お土産代などの雑費諸々、とお金はかかっておりますが、参加して良かったと思っております。英語の力不足の後悔はとても大きいです。今の悔しさを考えるとこの参加を目標に1年英語の勉強をしてから参加してれば最高の学び場であったと思います。

毎年多くの医師が参加することを願っております。重ねてになりますがこのような機会をくれた皆様に心から感謝申し上げます。